



モジュール操作お助けマクロ

使い方ガイド

2023/05/27 初版発行

本マクロの目的	2
注意事項	2
インストール	2
実行前の準備	2
ライセンスの登録方法.....	3
【モジュールの比較】モジュール名一覧を作成する	4
【モジュールの比較】全モジュールの比較シートを作成する	4
【モジュールの比較】比較シートを作成する	5
【モジュールの比較】モジュールを比較する	5
【モジュールの整理】モジュール名一覧を作成する	6
【モジュールの整理】モジュールを整理する	6
アンインストール	6

本マクロの目的

Excel VBA 開発で便利な、モジュールを操作するマクロ。現状の機能は2つ。

- モジュールの比較機能
- モジュールの整理機能

注意事項

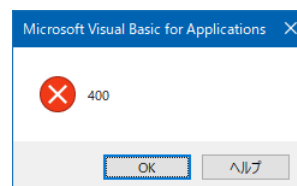
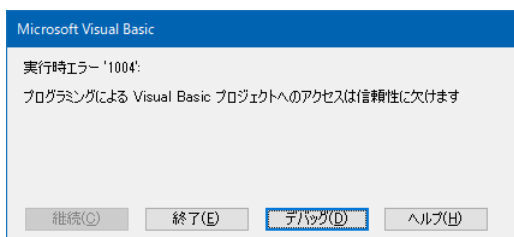
- 評価版では、1 比較シートしか処理できない。
- シートマクロ、標準モジュール、ユーザーフォーム、クラスモジュールを処理する。
- プロパティは使ったことがないので、動作確認していない。
- マクロ有効ブック(.xlsm)のみサポートする。互換ファイル(.xls)は動作確認していない。

インストール

本 Excel ファイルのみ。

実行前の準備

VBAProject へのアクセスの許可が必要である。これを行なわないと、以下のどちらかのエラーが出る。



以下の手順で許可すること。

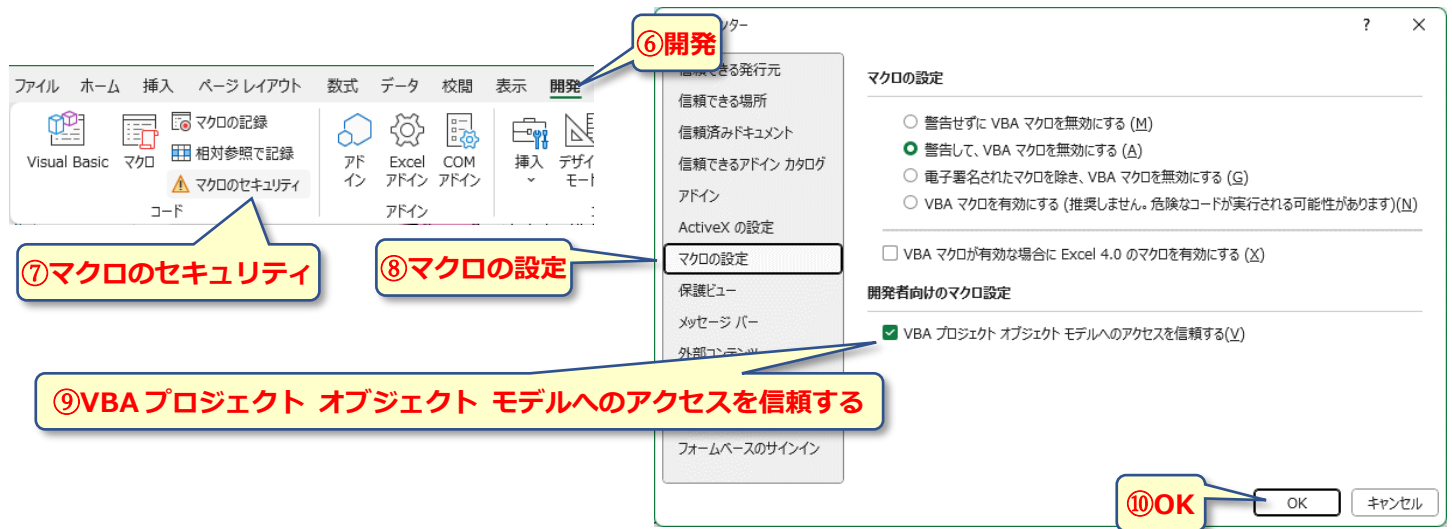
①バーナーのv

②その他のコマンド

③リボンのユーザー設定

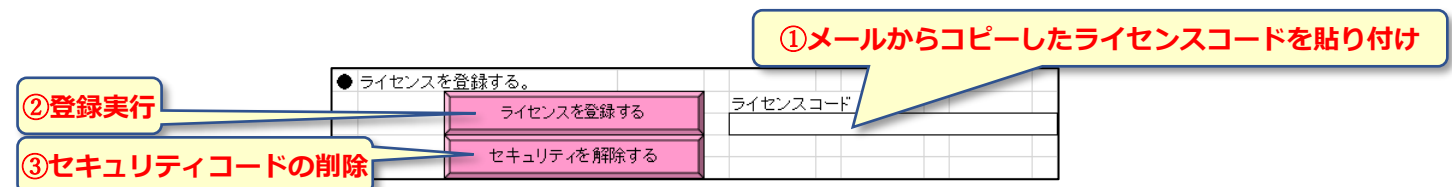
④開発

⑤OK



ライセンスの登録方法

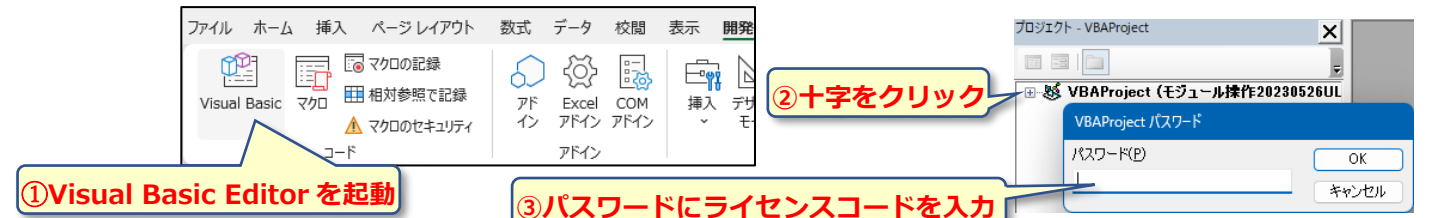
ライセンスを登録し、VBA コードを開放するには、以下の手順が必要である。



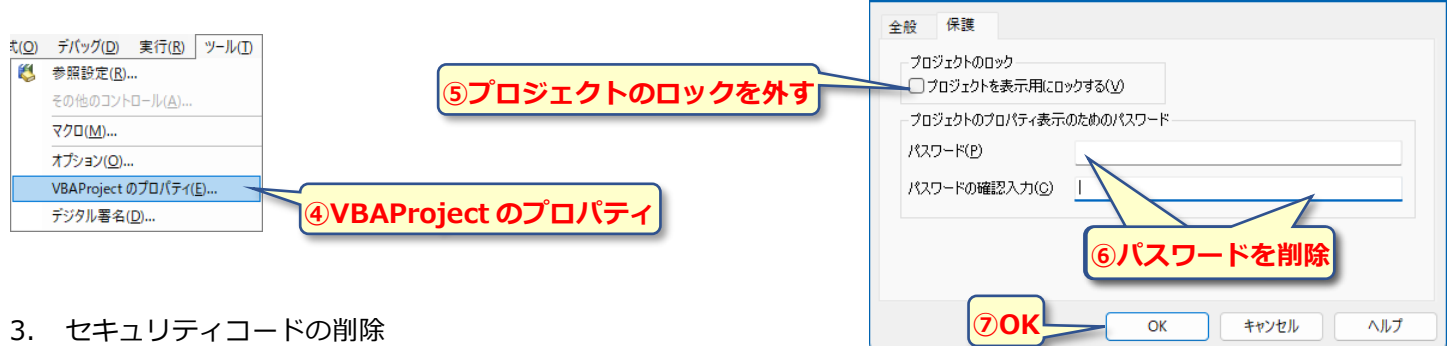
実行後、「NumLock」が外れることがある。注意すること。

自動実行が上手く動かない場合、以下の手順で手動解除する。

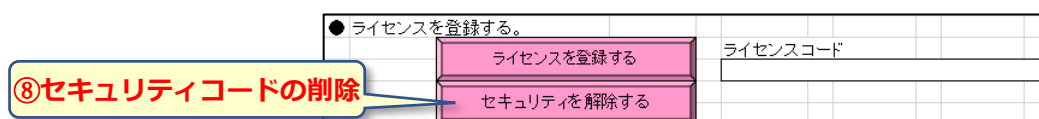
1. ライセンスコードの入力



2. ロックの解除

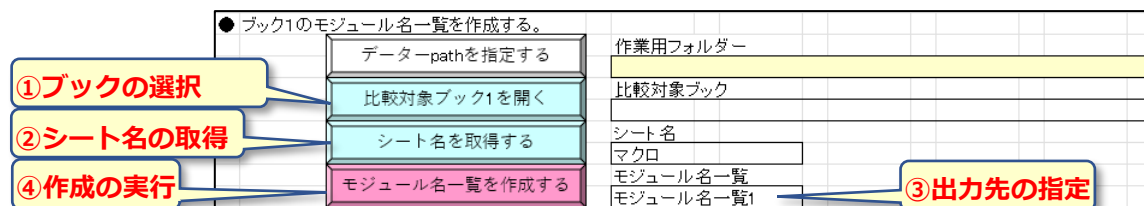


3. セキュリティコードの削除



【モジュールの比較】モジュール名一覧を作成する

比較対象ブックを指定し、モジュール名一覧を作成する。



ここで、シート名は、マクロ起動用の図形が置いてあるシート名のことである。従って、そのシートを表示してから実行すること。

実行すると、以下のシートが作成される。

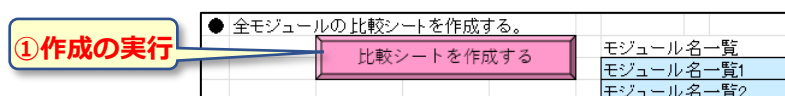
モジュール名	C	D	E	F	
モジュール番号	Module11	Module11a	Module11b	Module11c	
プロシージャ名	13	16	17	18	
	openProcBo	openProcBo	openProcBo	openProcBo	起動対称
	getSheetNa	getSheetNa	getSheetNa	getSheetNa	
	makeSubFun	makeSubFun	makeCompon	makeCompon	
	getPages	getPages	getPages	getPages	
	listStdMod	listStdMod	listModule	listModule	
	ble		paintMacro	paintMacro	

ここで、

- モジュール名として、シートマクロ、標準モジュール、ユーザーフォーム、クラスモジュールが列挙される。プロパティは列挙されない。
- モジュール番号は、VBAProject に登録されている順番であり、比較するときに利用している。
- プロシージャ名は、各モジュール内で定義されているプロシージャである。
- 起動対称は、マクロ起動用の図形に登録されているマクロ名である。

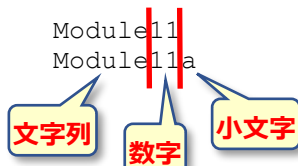
【モジュールの比較】全モジュールの比較シートを作成する

全モジュールの比較シートを作成する。



以下の手順をとる。

1. 数字のみのシート名を検索し、最大値+1のシート名でシートを作成する。
 2. モジュール名一覧1の1行目で、色のついているセルのモジュール名を検索する。
 3. モジュール名一覧2の1行目で、色のついているセルのモジュール名で、一致するものを検索する。
- 一致の条件は文字列と数字が一致しており、小文字が続くことである。



UserForm41A/UserForm41B 等もあることから、バージョン文字は小文字にしている。

4. モジュール名と各プロシージャ名をコピーする。

以降、1~4を繰り返す。

比較シートで並んだプロシージャ同士が比較対象である。プロシージャ名が同じかは見ていないので、追加・削除して
ずれていた場合、修正が必要である。

UserForm42A	UserForm42A
8	8
UserForm_Initialize	UserForm_Initialize
paramSet	paramSet
ctrlSet	ctrlSet
initSet	initSet
cellSet	cellSet
transSet	transSet
comboSet	comboSet
joinSect3	joinSect3
textSet	
CommandButton00_Click	CommandButton00_Click
CommandButton90A_Click	CommandButton90A_Click
CommandButton90B_Click	CommandButton90B_Click
cellSave	cellSave
transSave	transSave
CommandButton90C_Click	CommandButton90C_Click

以下のように指定すれば、同じブックのモジュール同士を比較できる。

モジュール名一覧 1

E	F	G	H
Module11b	Module11c	Module12	Module12a
17	18	21	23
openProcBo	openProcBo	geneAllCom	geneAllCom
getSheetNa	getSheetNa	getParams	getParams
makeCompon	makeCompon	getLastPag	getLastPag
getPages	getPages	isSameName	isSameName
listModule	listModule	getTerm	getTerm
paintMacro	paintMacro	geneCompSh	geneCompSh
		copyData	

モジュール名一覧 2

E	F	G	H
Module11b	Module11c	Module12	Module12a
17	18	21	22
openProcBo	openProcBo	geneAllCom	geneAllCom
getSheetNa	getSheetNa	getParams	getParams
makeCompon	makeCompon	getLastPag	getLastPag
getPages	getPages	isSameName	isSameName
listModule	listModule	getTerm	getTerm
paintMacro	paintMacro	geneCompSh	geneCompSh
		copyData	

比較シート

【モジュールの比較】比較シートを作成する

空白の比較シートを指定数作成する。

①作成の実行

● 比較シートを作成する。

比較シートを作成する

作成シート数

1

以下の手順をとる。

1. 数字のみのシート名を検索し、最大値+1 のシート名でシートを作成する。
- 以降、1 を繰り返す。
- 実行すると、以下のシートが作成される。

	A	C
1		
2		
3		
4		
5		

この後、モジュール名一覧 1/2 から比較対象列をコピーする。

【モジュールの比較】モジュールを比較する

モジュールを比較する。

①作成の実行

● モジュールを比較する。

モジュールを比較する

作業用フォルダ

比較対象ブック

以下の手順をとる。

1. 処理対処のブックが開いていない場合、開く。
2. 比較シートを順に検索する。この時、非表示や数字の前後に英字があるシートは処理しない。
3. プロシージャを読み込み、各プロシージャ名の次行に内容を挿入していく。
4. プロシージャ単位に各行を比較していく。
5. 一部のみ一致した行は、文字列単位で比較していく。

以下は、結果の一例である。

①一致しているプロシージャ		②一致している行		⑤不一致している行	
③不一致している行	ctrlSet	initSet	ctrlSet	initSet	
	Private Sub initSet(cell2 As Range, r10 As Long)	Private Sub initSet(cell2 As Range, r10 As Long)	Private Sub initSet(cell2 As Range, r10 As Long)	Private Sub initSet(cell2 As Range, r10 As Long)	
	76	76	76	76	
	77	77	77	77	
	78	78	78	78	
	79	79	79	79	
	80	80	80	80	
	81	81	81	81	
	82	82	82	82	
	83	83	83	83	
	84	84	84	84	
	85	85	85	85	
	86	86	86	86	
	87	87	87	87	
	88	88	88	88	
	89	89	89	89	
	90	90	90	90	
	91	91	91	91	
	End Sub	End Sub	End Sub	End Sub	

ここで、

- ①内容が一致しているプロシージャは、折りたたまれて表示されない。
- ②一致している行は、黒字表示。
- ③不一致している行は、赤字・太字表示。
- ④一部が不一致している行は、その部分だけ赤字・太字表示。
- ⑤単純に一致していない行。一致していない行が少ないときは、これを目当てに探すと良い。

【モジュールの整理】モジュール名一覧を作成する

モジュール名一覧を作成する。標準モジュールのみ対象。モジュールの比較用とは並びが異なる。

●モジュール名一覧を作成する。		作業用フォルダー	
①ブックの選択	データパスを指定する	処理対象ブックを開く	処理対象ブック
	処理対象ブックを開く	シート名を取得する	シート名
②シート名の取得	シート名を取得する	モジュール名一覧を作成する	マクロ
④作成の実行	モジュール名一覧を作成する	モジュール名一覧	モジュール名一覧
		モジュール名一覧	モジュール名一覧

実行すると、以下のシートが作成される。

Ty	旧Module	旧Proc	起動対象	新Module	新Proc
1	Module11	openProcBook1			
1	Module11	getSheetName1			
1	Module11	makeSubFuncTable1			
1	Module11a	openProcBook2			
1	Module11a	getSheetName2			
1	Module11a	makeSubFuncTable2			
1	Module11b	openProcBook3			
1	Module11b	getSheetName3			
1	Module11b	makeComponentsTable3			
1	Module11c	openProcBook4	openProcBook4	Module11	openProcBookA

ここで、

- 旧 Module/旧 Proc は処理前の状態。
- 起動対象は起動用図形に登録されているマクロ名。
- 新 Module/新 Proc は処理後の見込み。
- 新 Module/新 Proc が空欄のものは、削除対象。欄に名前があるものは、その名前に変更される。

【モジュールの整理】モジュールを整理する

モジュールを整理する。起動用図形に登録されているマクロ名と新 Module/新 Proc にある名前に変更し後は削除する。

●モジュールを整理する。		モジュール名一覧	
①処理の実行	モジュールを整理する	モジュール名一覧	モジュール名一覧

アンインストール

本 Excel ファイルの削除のみ。